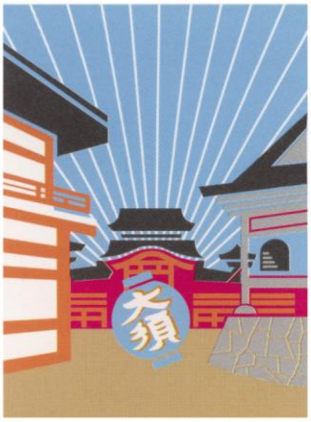

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU

名古屋大須ロータリークラブ WEEKLY REPORT

<本年度会長方針>

大きな和を築こう

No.1193

承　認　1985年2月12日　例会日　木曜日 12：30　例会場　名古屋東急ホテル

会　長　鬼頭茂成　事務局　名古屋市中区栄４丁目６番５号 丸越ビル６Ｆ
幹　事　岡村隆德　電　話　(052)251-0181　FAX　(052)251-0337　〒460-0008
URL　http://www.nagoya-osu.org　E-mail　office@nagoya-osu.org

第1401回例会

R理解推進月間
平成25年１月31日（木）
於 名古屋東急ホテル

会員　64名
出席計算数　58名中47名出席
出席率81・03％
前々回出席率83・93％

例会プログラム

★物故会員追悼
故 小塩 照雄さん
１９８６年８月７日入会
１９９３年２月10日ご逝去
故 平松 数郎さん
１９８５年１月10日入会
２００３年２月19日ご逝去

★近藤明美職業奉仕副委員長
節分例会について

★卓話

ロータリーソング

「大須ロータリーソング」
指　揮　者　吉田　憲一
ピアノ伴奏　冨板　玲子

ゲスト

星槎名古屋中学校校長
水野　髙保さん

ニコボックス

水野先生、本日の卓話よろしくお願いします。
鬼頭　茂成・岡村　隆德

日比野富士男・渡辺　観永
苦節28年、涙、涙の感激です。マジェスティのおかげ、日比野さんの御指導よろしく、ありがとうございました。
岡田　尚彦

今年初めての例会出席です。よろしくお願いします。
吉田　隆彦

ゴルフ部会例会で繰り上げ優勝させていただきました。
堀江　英弥

鬼頭会長杯準優勝です。ありがとうございました。
杉本　忠夫

会長挨拶　会長　鬼頭　茂成

みなさんこんにちは今日の例会は星槎中学校の水野校長先生の卓話です。名古屋市立六反小学校の跡地に星槎中学校が開校し、水野先生は名古屋市立南陽中学校の校長から、星槎中学校に迎えられ今日に至っています。先生の教育、子供との関わりを伺えると思います。先生よろしくお願いします。

いよいよ今度の日曜日は節分です。一週間に2回例会があるような気がしますが大変楽しみです。今回はご案内のように、渥美RC、中部名古屋みらいRCとの3RC合同の例会となります。大須観音に120名を超えるメンバーが集まります。岡部さんには大変お世話をかけますがよろしくお願いをいたします。詳細は幹事からのお知らせがあると思いますが、3ロータリーの会長がともにご挨拶をさせていただく次第のようです。

さて、2月になりますと、ウインタースポーツが話題となります。2006年のトリノオリンピックで金メダルに輝いた荒川静香選手のフリーの試合に使われた音楽について話をさせていただきます。あのイナバウアーの演技です。この時に使われた曲は、プッチーニ作曲のオペラ「トゥーランドット」の中の、ダッタン国の王子カラフが歌った「誰も寝てはならぬ」イタリア語で「ネッスンドルマ」というアリアです。

このトゥーランドットはプッチーニ最後のオペラで、完結出来ずに途中で癌で亡くなってしまいました。この後息子のトニオの依頼で、フランコ・アルファーノがプッチーニのスケッチを基に完成させました。未完というのがネックとなってプッチーニのオペラの中ではあまり演奏されない作品の部類でしたが、あの荒川静香選手のスケートの試合のお蔭で世界中の人が知ることになりました。

あらすじは、トゥーランドット姫に求婚するものは3つの謎を解かなければ死刑となる、というものです。それをカラフが解いてしまうのですが、トゥーランドット姫は嫁になるのはいやだと約束を果たさないわけです。それに業を煮やしたカラフが、「それなら私が反対に謎を出そう、私の名前を当てなさい。明日の朝までに私の名前が明かされれば、私は潔く死のう。しかし明かされなければ、あなたは私の妻になるのだ」と言います。それで、トゥーランドット姫は国中に触れを出します。「明日の朝まで誰も寝てはならぬ。あの者の名前を調べなさい」と。

そこでカラフが歌います。「誰も寝てはならぬ。姫あなたでさえも。誰も私の名前を知らない。夜明けとともに私はあなたの唇に告げよう。そして、私の口づけが沈黙の終わりとなり、私はあなたを得る。星よ沈め！夜明けとともに私は勝つ！私は勝つ！」と歌っています。荒川選手は私は勝つ、勝つと演技をしたのです。

ご清聴ありがとうございました。

卓　話

「かわゆくば 二つ叱って三つ誉め 五つ教えて良い子にはせよ」
学校法人国際学園星槎名古屋中学校校長　水野　髙保さん

1. はじめに

ただいまご紹介を戴きました星槎名古屋中学校の校長、水野でございます。2年前、港区の南陽中学校を最後に定年を迎えました。

星槎名古屋中学校
Seisa Nagoya Junior High School

お手元にパンフレットを用意させて頂きましたが、私どもの学校は名古屋市教育振興基本政策の1つとして、名古屋市により不登校対応の私立の中学校として誘致されたものであります。昨年の4月に開校いたしまして、現在、106名の生徒が通っております。生徒の半数以上は〝いじめ〟を体験しており、私どもは今日の重要な課題である〝いじめ〟には大きな関心を持ち、その対応に力を注いでいます。

今日ご参加の皆様方は、様々なお立場でお年も幅広うございますので、お話しさせて頂く内容についてどこに焦点を当てるかが難しく、保護者や地域の方に向けたお話しを中心にさせて頂きますが、皆様方のお立場に置き換えて頂ければ幸いです。

先日、こんなことがありました。一人の生徒を掃除道具倉庫に閉じ込めたということがありました。すぐに担任が事実関係を確認し、緊急の学年集会を開き生徒の注意を促しました。ところが、よくよく話を聞いてみると、閉じ込められたという生徒は自分からなかなか話を切り出せない生徒でした。閉じ込めた同級生は話の糸口を掴むため掃除道具の倉庫に閉じ込めて「助けて」とか「何でこんなことするんだ」という返事を待っていたようです。ですから、閉じ込めたといっても鍵を掛けるようなことはしませんでした。往々にして私たちは、行為の事実のみを確認する余り、その奥にある子ども達の思いに気付かないことがあります。彼らがとった方法は同級生に「いじめられた」という思いを抱かせ、間違った方法かもしれませんが、仲間を作ろうというきっかけを掴もうとした気持ちは分かってあげたいと思います。むしろ、いつでも掃除が出来るようにと倉庫を開け放していた私どもに問題がありました。その点を集会の折に私から生徒達に詫びました。

2、私の中学校時代

私自身〝落ちこぼれ〟で小中学校と同級生からいわゆる〝いじめ〟を受けていました。勉強は嫌いでしたので中学3年生になって親にも相談せず就職先を決めていましたが、夏休みに入るとき、憧れていた女の子から〝一緒に向陽高校へ行こうよ〟と言われ、舞い上がって勉強を始めました。仲良くしていた仲間が勉強を教えてくれました。成績はグングン上がり、ビリに近かったものが2学期の終わりには学年の1割以内に入りました。担任の先生は成績順に成績表を渡す人でしたので、私の成績が上がっていくのは周囲の生徒も分かります。自分でも出来るんだという自信が付いてきました。私の周りに仲間が増え、嫌がらせをしていた人たちはもうしなくなりました。自分の良さに気付き、自分に自信を持つこと。それが周囲の人に認められ、仲間が増える。仲間が増えれば自分に嫌がらせをする人も減っていくこと・・・・それがよく分かりました。

私はいじめをなくすことよりも「いじめを受けない子」「いじめをしない子」に育てることが大切と思っています。

これまでの教員生活で、私は子ども達がそれぞれ持っている〝良さ〟に焦点を当てて指導をしてきました。でも、どの子がどのような良さを持っているのか、その良さをどこでどのように発揮させたらいいのか、全員を完全には把握できませんから、様々な生徒の活動場面を多く設定して、少しでもたくさんの子ども達が関われるようにしてきました。保護者や地域はいつも協力をしてくれました。その例については後に述べます。

3.子どもの〝良さ〟親自身の〝良さ〟部下や上司の〝良さ〟を見つけよう。

「人は必ずよい点を持っている」・・・これが私の持論です。保護者の方とお話すると、「○○ちゃんは勉強も運動もよくできて」それに引き替えうちの子は・・・とおっしゃる方があります。でも、気になる○○ちゃんのお母さんはその方の子を見て「なぜうちの子は○○ができないの」と逆に思われているかもしれません。要するに普段見慣れているが故に自分の子の良さに気づかず、他の子の良さだけに目がいっているわけです。

そこで、ちょっと演習をしてみましょう。皆さんのお子さんの良さを思いつく限り出してレジュメに書き出してください。どんな些細なことでも結構です書き出してください。お子さんがお見えにならなければ家族のどなたでも結構ですし、職場の部下や上司の方でも結構です。

どうでしたか?5つ以上見つけられた方はおありですか?

では、今度はご自身の良さを書き出してください。

どうでしたか?5つ以上見つけられた方はみえますか?こうしてみると、人の良さを見つけるのはそんなに難しくなさそうですが、自分のこととなるとなかなか見つからないものですね。それが実感として分かれば、子どもや周囲の人に置き換えてみても同じ事ですよね。自分達の良さには案外気づいていないものです。それなら、気付いた誰か、私たちが、周囲の人たちにその人の良さを教えてあげればよいのではありませんか。

自分の良さに気付き、自分自身を好きになり、自分自身に自信を持つように!!したいものです。その気づきの場を学校や家族、地域や職場が担うようにならなければならないと思います。

3年前、名古屋市から要請のあった「伊勢湾台風50年事業」の研究発表を引き受けたのもそんなことがあったからです。名古屋の西の外れに位置する南陽中学校の生徒に自信と誇りを持たせるチャンスだと思いました。しかし、発表直前のリハーサルでは原稿さえ読み間違える始末。「甘ったれるな。君達は南陽中の代表だぞ。メモを見るな。全て暗記しなさい」と叱りつける場面もありました。でも、当日は全員私の期待に応え、堂々と発表してくれました。子どもの良さを伸ばすと言うことは褒めるだけではだめなんです。適度のストレスも与えないと。私に叱られた後、彼らは随分家で練習したようです。発表の後で「校長先生を見返してやろうと思った」と想いを述べた生徒もいました。

発表に参加した生徒には大きな自信に繫がったと思います。

私どもの学校は不登校で

あった生徒が通う学校です。昼夜逆転をしていた子や、マンガやゲームで一日を過ごしていた子、現実から逃げていた子がほとんどです。他の中学校の生徒さん達とは〝経験〟と言う点でずいぶんと差があります。そして、自分に自信がありません。ですから〝自分の良さ〟に気付かない生徒がほとんどです。何が〝自分の良さ〟なのか分からない生徒がほとんどです。一人でも多く自分の良さに気付いて欲しいと私たちは様々な場面を提供しています。授業の中に茶道や大正琴など日本の伝統文化を採り入れたり、今日ここにお見えになっています渡辺観永さんにご紹介頂いたリョータさんにプラモデル製作の手ほどきを定期的に課外でお願いしています。手先の器用な生徒はここで自分の良さに気付くことになります。（中略）

子ども達の良さを伸ばし、自信を持たせることが子ども達を大きく成長させ、お互いを認めることにつながります。そこから〝イジメ〟という悲しい出来事にはつながらないと私は信じています。

4. ものは言い様？

（中略）表題の「かわゆくば、二つ叱って三つ褒め、五つ教えてよい子にはせよ」はだれの言葉か忘れてしまいましたが、叱ることも大切ですが、褒めることは少し多めに、その上で教えることが大切との考えです。私たちはこの言葉が大好きです。私たちはついつい子どもが思い通りにならないときに、怒ったり叱ったりすることに終始してしまい、褒め、教えることが頭から飛んでしまいます。

例えば、中学校の男子生徒の中にはYシャツの裾を出す生徒がいます。私は「あれ?俺の目の錯覚かな?お尻からしっぽが出ているような気がするけど」と声を掛けると、全員がズボンの中にシャツの裾を入れ、「校長先生の目の錯覚だよ」と答えます。「そうか、年を取ると目が衰えるからな」と。そこにはギスギスしたものはなく、自然に注意が促されます。もっとも、私がいなくなると元に戻す生徒もいたようですが・・

怒ったり、叱ったりするだけではなく、ものは言い様でしょうか。

5. 子どもへの働きかけは

では、子どもに「こうしてほしい」思うとき、言葉の他にどのような方法があるのでしょうか。

こんな言葉があります。「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」これは江戸時代後期、米沢上杉藩の養子に入った上杉鷹山（治憲）の言葉として有名ですが、旧日本海軍の山本五十六元帥が使った言葉としてもよく知られています。

上杉鷹山は財政破綻した米沢藩を立て直すため、着る物も食べるものも質素にし、自ら進んで農地の開墾にあたり、藩士の手本となったと言われます。私も率先垂範の端くれですが、ふと後ろを見ると、誰も付いてきていないこともありますが。（笑い）

6. 漫画やアニメもバカにできない

私は学校集会で校長として話をする時、偉人の言葉を引用したり難しい言葉は使いません。アニメや漫画、スポーツ選手の言葉、人気歌手の歌詞などを題材にすることが多くあります。最近は嵐やAKB48の歌詞をよく使いますが。また、子ども達の活動の様子から気付いた嬉しかったことを題材にします。そして、集会では決して生徒を叱りません。なぜなら、ほとんどの生徒達は叱られる内容には関係ないからです。ですから20分近い話でも、体育館が暑くても寒くても、子ども達はしっかりした姿勢で聞いていましたし、「校長先生の話は短くて好き、次は何の話?」と聞きに来る生徒もおり、長い話も気にしていないようでした。やんちゃな子が多い学校でもです。

そのうちのいくつかを紹介します。皆さんもご承知の言葉があると思います。20代までの人でしたら十分分かると思いますが・・・

・最後まで頑張る事を期待する時
「最後まで希望を捨てちゃいかん。あきらめたら、そこで試合終了だよ…」（スラムダンク8巻／安西先生の言葉）

・時間を大切にして過ごして欲しい時「人は歴史の流れの中で生きている。今をどう生きるかが将来の自分を決める」（るろうに剣心／緋村剣心）

・自分自身を大切にして欲しい時
「夢を失うことよりも悲しいことは、自分を信じられないこと」（平原綾香／ジュピター）

・夢を持ち続けて欲しいとき「夢は見るものじゃない、語るものじゃない、叶えるもの」（安室奈美恵）

漫画やアニメ、ポップス、バカにできませんよ。一度、若者達の読んでいる漫画に目を通してみてはどうでしょう。何かヒントになるものがあるかもしれません。なくても、若者との共通の話題になります。「SOSのサインを見落とさないというよりもSOSを出させないようにするために。」

7. 〝いじめ〟をなくすための連携

これまで「子ども達をどう育てるのか」についてお話ししてきました。自分の良さに気付き、自分に自信を持ち、多くの仲間の中で生活する。こういった生活を送ることが出来れば、〝イジメ〟などという悲しい出来事は少なくなるものと考えます。「人を排除しない」「人を認める」「仲間を作る」。これは星槎名古屋中学校での重要な指導ポイントでもあります。

ここで、〝イジメ〟をなくす為に私たちが学校、保護者、地域と協力して行った事例をご紹介します。

教育委員会の上の方から「君が行く学校は課題が多い。学校の信頼を回復して欲しい」と言われて赴任したある学校の話ですが、着任式で十数人が校庭を走り回っています。私の話を聞いている生徒は1／3程度、半数以上の生徒はお喋りをしている状況で式が進みました。あきれて、マイクのスイッチを切って大声で儀式の大切さを説いたのが始まりでした。地域に挨拶に行っても「学校は地域に何をしてくれた。何にもしていないじゃないか」とお叱りを受ける始末。翌日、校長室の前で泣いている生徒を見かけ、「どうした?」と聞くと、同級生に「自分の机やカバンを教室の窓から運動場に落とされた」とのこと、「投げた生徒は特定できるから、直ぐに指導する」と話すと「やめてください。どうせ、周りの子達は見ていないと言うから。これまで8年我慢してきました。あと1年のことだから我慢します」という答えが返ってきました。私はこの答えに涙が出ました。そして、「それでも学校へ来ている生徒に答えなければ

という思いが強くなりました。その生徒を説得し、保護者にも了解を得て、生徒指導の担当職教諭に「徹底的に膿を洗い流せ。それに関わる責任は俺が取る」という指示を出しました。

毎日のようにガラスが割れ、設備が壊されます。そういった毎日の中で、対教師暴力が起こりました。直ぐに状況を確認し、教頭の変な慎重さに腹を立てながら警察に被害屈を出しました。このことが保護者の中に「これまで、こんな事は日常茶飯事だったのに、今度の校長は子どもを犯罪者にする」という意見が出、「進学に影響が出る」との理由で地域の市会議員さんに苦情が行きました。その市会議員さんには、「徹底的に学校の膿を出さなければ、この学校を建直すことは出来ない」旨を事前にお話ししていたので、苦情に対して「私は校長とよく話し合っているし、校長を信頼している。しばらく見守っていたら」という形でパックアップをして頂きました。

授業中に教室を出ている生徒は教室に入れる。教室に入れて騒ぐ事もあるが、教師が工夫を重ね授業を分かりやすく楽しいものにする。教室に入らなければ、その生徒達に密着して話し相手になり、器物を壊すことのないように見守る。遅刻して校門やフェンスを越えて校内に入らないように校内巡視を徹底する。巡視の際にはゴミ袋を持ち、校内の清掃を行う。職員室には必要最小限の教員しかいないようにしました。

服装に大きな問題があったり、授業の用意をしていない生徒は服装を整え・授業の準備をして登校するように指導する。従わない場合は校内には入れない。などの対応をすると共に、保護者や地域に働きかけ、生徒の登校時には教員・生徒の有志・保護者・地域住民が校門で生徒に挨拶をする〝あいさつ運動〟を展開しました。地域住民の中には「下手に声を掛けたら何かされるのでは」という声もありましたが、「校門に20人もいて挨拶すれば、生徒の方がビビりますヨ」と尻込みする人を前に押し出しました。一方で、保護者会だけでなく地域懇談会を聞き、学区地域の皆さんに学校の状況を正直にお話ししてご理解を戴き、学区の運動会やお祭りなど地域の行事に希望する多くの生徒を係として参加させました。学区の運動会では重い器具を生徒が運び役員さんに喜ばれたり、生徒から賞品を受け取りお年寄りや小さな子ども達の笑顔が広がったこと、役員からの指示を素直に受け止め笑顔で実行する生徒の姿から、生徒に対する運動会参加者の認識が変わったこと。お年寄りに贈る鉢植えの花や暑中見舞いや年賀状は全校生徒で取り組み、お年寄りだけでなく学校に対する地域の認識も変わり、女性会や消防団など様々な協力関係ができました。

そのうちの一つが「名古屋ど真ん中祭り」で有機野菜の販売をしたことです。1000セットを午前中に完売しました。完売するかどうか不安でしたが、女性会の皆さんは「売れ残ったら私たちがみんな買ってあげるから」とも言って下さいました。それが発展して生徒が参加する月2回の「土曜朝市」になりました。保護者も、学校への批判よりも「自分たちで出来ること」を探し始め、子ども達の良さを見つけようと生徒と共にする作業や授業参観にも参加者は大きく増えました。

学校も、地域との連携を深めるだけでなく「分かる楽しい授業」を目指して、校内での授業研究を頻繁に行いました。特に、正規の授業を終えた後、1クラスだけ残して教育委員会の指導主事の参加の下、授業を行い、夜遅くまで検討会を行いました。教員の授業に対する指導力は大きく伸びたものと思います。その証拠に全国規模の学力テストの成績は大きく伸びましたし、高校の入学試験にもその影響は大きく表れました。

私は子ども達に「自分を好きになり、自分に自信を持ち、人と共に生きる」事の大切さ。自分を大切にし、他を認め、共により良く生きるためには何ができるかを学んで欲しいのです。

8. 名古屋大須RCの皆さんにお願いしたいこと

長々と、私のつまらない経験話をお聞き頂き有り難うございました。私がお話ししてきたことは親御さんや地域の方向けの内容になりますが、皆さんの立場からするとどうでしょう。会社や事務所にいる部下への接し方としてお考え頂けたらどうでしょうか。私自身、生徒に対する想いを教員に対しても持っています。

皆さんに申し上げたいのは、『これまで以上にご自身の職場の方の良さを見つけて、教えてあげてください。タイムリーに叱ったり褒めたり、教えたりしてください。彼らを認め、自信を持たせてください』ということです。経営者や人生の先人としての自信と誇りと責任を持って。

最後に、大須RCの皆様にお願いしたいことがあります。学校での指導には自ずと限界があります。先程お話しさせて頂きましたが、渡辺さんのご厚意によるプラモデル作りが軌道に乗ってきました。「校長先生見て！」と嬉しそうに私に見せに来る生徒もいます。ご指導頂いて思うように作れたときの充実感はこれまで彼らが感じられなかったものと思います。茶道の講習も毎月行っています。今後着付けや書道の講習会も聞いていく予定ですが、是非、皆様のお力もお借りできればと思っています。特に、キャリア教育を進めるに当たって、職場体験等の機会を与えて頂ければ幸いです。

もう一度、今日の演題を読み上げます。**『かわゆくば、二つ叱って三つ褒め、五つ教えてよい子にはせよ』『やってみせ、言って聞かせてさせてみて、褒めてやらねば人は動かじ』**

最後に、教員としてたくさんの子ども達に囲まれて過ごしてきた40年間、私を支えて頂いた多くの方々に感謝し、また、退職後も新しい中学校の校長として子ども達と関われる機会を頂いた星槎名古屋中学校に感謝し、私の幸せのほんの少しをみなさんにお裾分けし、話を終えたいと思います。有り難うございました。

広報委員会
近藤宏一郎・林　富徳
杉浦　令淑・青木　靖高

＊本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。